

一般質問

一般質問 兎澤祐一議員（鹿真会・公明）

問 今後の高齢者単身世帯への支援策は。

答 日常生活を支援する軽度生活援助サービス、地域でのわいわいランチ活動、冬期間の住宅除排雪支援事業、地域包括支援センターによる訪問など、きめ細やかに支援していく。



これからの介護について

問 高齢化と共に認知症の割合も増加すると考えられるが、今後の対策は。

答 認知症サポーター養成講座や認知症カフェ、県内初のスロースポッピング等のほか、認知症高齢者見守り事業や、市内106か所の事業所との協定締結による高齢者等見守りネットワーク推進事業に取り組んでおり、今後も地域での見守り活動の拡大に力を入れていく。

また、認知症基本法

の基本理念を踏まえ、

市民が認知症を正しく理解し、地域で温かく見守る体制を構築し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「やさしい地域づくり」を目指す。

骨髄バンクドナーの継続的確保に向けた取り組みについて

問 造血幹細胞移植に對する市民の理解を深める施策について、市の取り組みは。

答 骨髄バンクの主な窓口は県内各保健所等であり、市は関係機関と連携し、ポスター掲示やパンフレット設置・配布のほか、ドナー登録の窓口となる市内巡回献血を推進するなど周知に取り組む。

質問した項目

■2025年問題について ■これからの介護について ■骨髄バンクドナーの継続的確保に向けた取り組みについて ■災害時における避難所対応等について（スフィア基準に基づく対応について）ほか



録画配信はこちらから

一般質問 湯瀬弘充議員（新時代かづの）

問

答

消防操法訓練大会のあり方の見直しと、分団にかかる負担軽減が必要ではないか。出場隊数の上限を見直すなど対応しているが見を踏まえながら協議・検討していく。



災害対策について

問 消防団が災害活動時に使用する手袋やヘッドライト、防寒具、防煙マスクなどの装備が不十分であり、定期的な支給が望まれる。また、消防出初め式における服装の見直しを求めるが、市の見解は。

答 装備品の整備を計画的に進めており、現在更新中の高視認性活動服・雨具の整備とともに、出初め式での服装の見直しを検討していく。防護マスクについては導入に向

けて早急に検討を進める。

廃校や利用の少ない施設の利活用について

問 「冬季や悪天候時に子供たちが安心して遊べる屋内施設があるが、廃校を改修し、室内遊具施設として整備できないか。

答 鹿角市こども計画策定にあたり実施したアンケート調査や子ども・子育て会議においても、子供の遊び場を望む声が多数ある。どのような遊び場が必要とされているか、子育て世代が重視する点を把握するとともに、既存施設とのすみ分けを整理し、令和11年度までの計画期間中に検討を進めていく。

質問した項目

■市長の方針について ■災害対策について ■空き家対策について ■廃校や利用の少ない施設の利活用について



録画配信はこちらから